

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	保土ヶ谷の人・まち・文化を生かした旧東海道にぎわいづくり事業	
事業の実施者	団体等	ほ도가や 人・まち・文化振興会
	行政	保土ヶ谷区役所区政推進課
事業の目的	<p>「ほ도가や 人・まち・文化振興会」は、旧東海道沿道地域で様々な活動を行っているまちづくり団体や事業者が参画し、協働で区内の課題解決に取り組む団体です。本事業は、保土ヶ谷宿等の資源（歴史、ひと、もの）を生かして、地域の住民に親しまれる街道を創り、地産地消を促進し、まちを歩く人やまちづくりに関わる人を増やし、旧東海道沿いのにぎわいづくりを目的とします。</p>	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●宿場朝市“ごうどいち” 地元の名物、野菜販売を行い、地元の農家・企業を活性化し、旧東海道沿道の商店街等のにぎわいづくりに寄与する ●ほ도가やまちゼミ 保土ヶ谷のまちの魅力を知るゼミを開催し、次世代のまちづくりの担い手を育成する ●今昔写真展 旧東海道保土ヶ谷宿から続く歴史あるまちなみ・人物や、後世まで残したい現在の風景・人物を記録・保存・紹介する ●まちかど博物館スタンプラリー 保土ヶ谷で長年積み重ねられてきた歴史・生活文化・生業を知ることができる ●電子高札場 最新のIT技術を活用し、旧東海道を歩く人に、保土ヶ谷宿の歴史や地元の名店等のまちあるきスポット等の情報を発信する ●ほ도가や 人・まち・かわら版 保土ヶ谷の名所・スポットを紹介するとともに、旧東海道沿いで行われる活動やイベント等の各種行事を一体的にPRし、幅広い世代が定期的にまちに出かける環境づくりを行う 	
役割及び責任分担等	<p>[提案団体]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歴史・地産地消・多世代交流等を専門とする市民活動団体の長年培ってきた知識・企画力・ネットワークを活かし、様々なニーズに対応した効果的なまちづくりの企画・運営 2) 参画する市民活動団体、企業、商店街の即時連携の調整 3) 多分野の団体参加による実行力を高めるための調整 <p>[横浜市]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 多様なメディアでの広報、募集 2) 公共事業と連携する機会、公共空間で事業を実施する機会の提供 	

	3) 行政の企画・実施協力 4) 行政のノウハウ、知識の提供
実施期間	平成 25 年 5 月 17 日～平成 26 年 3 月 31 日

記入日	2014 年 6 月 10 日
記入者	[団体等] ・団体等名： ほどがや 人・まち・文化振興会 ・記入責任者 氏名： 兼弘 彰 連絡先： 045-335-7164
	[行政] ・部署名： 保土ヶ谷区区政推進課 ・記入責任者 氏名： 大庭 伸仁 連絡先： 045-334-6227

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		団体等	行政
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	A	B
2	お互いの立場や組織の違いを話し合っよく理解することができましたか。	A	B
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合っ決めてことができましたか。	B	B
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合っ役割分担を決めることができましたか。	B	B
5	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合っよく理解することができましたか。	B	B
6	事業を始めることや計画中であることを、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	B

②事業実施段階

		団体等	行政
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	B	A
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	B	A
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	B	B
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	A	A
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	B
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	A	B
7	事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	A

③ふりかえり段階

		団体等	行政
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合っ共有できたか。	A	A
2	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	A	A
3	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	B	A
4	期待された事業成果を得られることができたか。	B	B

3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

事業の計画づくり (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 事業実施方法における、今後のスケジュールや手法等を一定程度共有することができた。
【今後改善が必要と思われること】 事業費等の配分計画を充分検討し共有する必要がある。
事業実施 (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 当初の事業目的や事業効果を変えることなく、関係者の状況にあわせ柔軟に事業手法を変えながら実施することができた。
【今後改善が必要と思われること】 「ほ도가や 人・まち・文化振興会」は、3部会に分かれており当事業は「歴史部会」をメインに実施している。今後は、他の2部会とも連携をとり更なる事業の発展・効果を狙っていきたい。
事業の成果 (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
「宿場朝市ごうどいち」・・・地域のにぎわいづくりを行うだけでなく、地域のコミュニケーションの場や地産地消の推進となっている。 「まちかど博物館スタンプラリー」・・・まちかど博物館の認知度アップにつながるとともに、区内の小学生在が地域の歴史やまちを知る機会となった。 「電子高札場」「ほ도가や 人・まち・かわら版」「今昔写真展」・・・保土ヶ谷宿をはじめとした地域の歴史やイベント情報を伝えることで、保土ヶ谷を想う人を増やし、地域のにぎわいづくりを作ることができた。 「ほ도가やまちゼミ」・・・地域の未来の担い手づくりをコンセプトに、小学生在が地域の歴史・地域の人を知る良い機会となった。今後は、成果物を各イベントで展示しながら地域の人にも周知をしていきたい。
自由記入欄